

新入職員企画 福祉実践教室の講師にインタビューしました



本会では、市内の小中学校にて「福祉実践教室」を開催し、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、手話、点字、高齢者疑似体験、要約筆記、認知症理解、発達障害理解の8つの体験科目から学校ごとに選択いただき実施しています。参加する児童・生徒からは、障害がある方と実際に関わったことがないという声を多く聞きますが、地域には障害がある方や高齢の方が多く暮らしています。福祉実践教室では障害者や高齢者に対する理解を深め、住民一人ひとりが支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

今回は福祉実践教室の講師をはじめ、様々な福祉事業に協力していただいている野口真裕美さんにインタビューをしてきました。

Q福祉実践教室で何を教えてますか？

視覚障害者には様々な見え方の方がいることを伝えています。また、見えない人の役とガイドの役に分かれてコースを歩いて体験してもらいます。

Q福祉実践教室の講師になったきっかけは？

社会福祉協議会の職員から実践教室の講師をやってみないかという連絡があったのがきっかけです。最初は不安もありましたが、今は多くの人とつながりを持つことができ、うれしく思います。

Q福祉実践教室のやりがいは？

福祉実践教室を終えた後で、受講した子どもたちが「何かお手伝い出来ることはありますか」と声をかけてくれたときです。福祉実践教室だけで終わらせるのではなく、実際に行動に移してくれたことにやりがいを感じました。

Q福祉実践教室を通して伝えたいことは？

障害があってもなくても同じ人間です。助け合って生きる社会を目指そうという思いを伝えたいです。

インタビューを終えて…

福祉実践教室での学びを普段の生活に活かしている子どもたちの話が印象に残りました。野口さんは講義にゲームを取り入れるなど、子どもたちが楽しく学べる工夫をしています。こうした講師の皆さんの想いや工夫が、子どもたちの背中を押す良いきっかけにつながって欲しいと思います。

野口さんおすすめの絵本

「朝子さんの一日」
視覚障害がある朝子さんの1日の生活を分かりやすく絵と文字で教えてくれる絵本
永原 達也【文】 / 大中 美智子【絵】 / 一般財団法人日本児童教育振興財団【刊】



※1993年発売のため、入手困難場合があります。

視覚障害者
ガイドヘルプの授業



～福祉実践教室の講師募集中～

子どもたちに自分の体験談や、障害者の方への介助の方法などのお話をさせていただきます。

募集対象者

- ①【車いす講師】車いすで生活をしており、車いすの取り扱いについて説明ができる方
【点字・視覚障害ガイドヘルプ講師】視覚に障害があり、点字の読み書きや白杖の使い方等が説明できる方（全盲・弱視は問いません）
- ②福祉教育に関心のある方
- ③各学校までご自身で来ることが可能な方（タクシー、自家用車可）
上記①～③の条件を満たした方が対象。応募後、面談を行います。募集人数：若干名

問合せ 詳細については、本部(地域福祉グループ)までお問い合わせください。TEL85-7024